

2 学期のまとめ

基礎

かいとう

1

(1) 12 の約数: 1, 2, 3, 4, 6, 12

(2) 6 と 9 の公倍数 (3 つ): 18, 36, 54

(3) 24 と 36 の最大公約数: 12

2

$$(1) \frac{2}{5} + \frac{1}{3} = \frac{6}{15} + \frac{5}{15} = \frac{11}{15}$$

$$(2) \frac{5}{6} - \frac{3}{8} = \frac{20}{24} - \frac{9}{24} = \frac{11}{24}$$

$$(3) 1\frac{1}{4} + 2\frac{2}{3} = 1\frac{3}{12} + 2\frac{8}{12} = 3\frac{11}{12} = 3\frac{11}{12}$$

3

(1) 式: $(38 + 42 + 35 + 45) \div 4 = 160 \div 4 = 40$

答え: 40kg

4

(1) A の部屋: $6 \div 12 = 0.5$ (1m² あたり 0.5 人)B の部屋: $9 \div 15 = 0.6$ (1m² あたり 0.6 人)

答え: B の部屋の方がこんでいる

2 学期のまとめ

標準

かいとう

1

(1) 7 と 8 の最小公倍数は 56。56 の倍数は、56, 112, ... 100 に近いのは、112。
答え：112

(2) 18 と 30 の最大公約数を求める。18 の約数：1, 2, 3, 6, 9, 18 30 の約数：1, 2, 3, 5, 6, 10, 15, 30 最大公約数は 6。
答え：6cm

2

$$(1) 3\frac{1}{6} - 1\frac{4}{9} = 3\frac{3}{18} - 1\frac{8}{18} = 2\frac{21}{18} - 1\frac{8}{18} = 1\frac{13}{18} = 1\frac{13}{18}$$

$$(2) \frac{5}{12} + \frac{3}{8} - \frac{1}{6} = \frac{10}{24} + \frac{9}{24} - \frac{4}{24} = \frac{15}{24} = \frac{5}{8}$$

3

式：3 回の合計点： $82 \times 3 = 246$ 4 回の合計目標： $85 \times 4 = 340$ 必要な点数： $340 - 246 = 94$

答え：94 点

4

式： 1m^2 あたりの本数を求める： $360 \div 15 = 24$ (本/ m^2) 24m^2 の本数： $24 \times 24 = 576$

答え：576 本

2 学期のまとめ

応用

かいとう

1

(1) A 町： $6500 \div 50 = 130$ (人/ km^2) B 町： $9100 \div 65 = 140$ (人/ km^2) $130 < 140$ 答え：B 町の方が高い

(2) 人口密度が 130 なので、 $130 \times 80 = 10400$

答え：10400 人

2

分母を 24 に通分して考える。 $\frac{1}{6} = \frac{4}{24}$ $\frac{3}{4} = \frac{18}{24}$
 $\frac{4}{24}$ より大きく、 $\frac{18}{24}$ より小さい分数を探す。分子は、5, 6, ..., 17 の整数になる。
 $17 - 5 + 1 = 13$

答え：13 個

3

(1) $100 - (35 + 20) = 100 - 55 = 45$

答え：45%

(2) $40 \times 0.45 = 18$

答え：18 人

2 学期のまとめ

思考力

かいとう

1

$$(1) \frac{1}{3} + \frac{1}{4} = \frac{4}{12} + \frac{3}{12} = \frac{7}{12}$$

$$(2) \text{全体を 1 とすると、} 1 - \frac{7}{12} = \frac{12}{12} - \frac{7}{12} = \frac{5}{12}$$

$$(3) 120 \times \frac{5}{12} = 50$$

答え：50 食

2

(1) 3 等分するための線は 2 本。 $(\frac{1}{3}, \frac{2}{3})$ の位置) 4 等分するための線は 3 本。 $(\frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{3}{4})$ の位置) 重なるところがあるか調べる。 $\frac{1}{3} = \frac{4}{12}$ $\frac{2}{3} = \frac{8}{12}$ $\frac{1}{4} = \frac{3}{12}$ $\frac{2}{4} = \frac{6}{12}$ $\frac{3}{4} = \frac{9}{12}$ 同じ値はないので、重ならない。 $2 + 3 = 5$ 答え：5 本

(2) 切り口の位置分数の差が最も小さいところを探す。分母を 12 で揃えと、3, 4, 6, 8, 9 となる。(分子) となりあう分子の差が 1 のところが最もせまい。例えば $\frac{4}{12}$ と $\frac{3}{12}$ の差は $\frac{1}{12}$ 。 $100 \times \frac{1}{12} = \frac{25}{3} = 8\frac{1}{3}$
あるいは、 $\frac{1}{3} - \frac{1}{4} = \frac{1}{12}$ が最小間隔となる。

答え：8 $\frac{1}{3}$ cm ($\frac{25}{3}$ cm)

2 学期のまとめ

まとめ

かいとう

1

(1) 8 の倍数: 8, 16, 24... 12 の倍数: 12, 24...

答え: **24**

(2) 24 の約数: 1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 24 42 の約数: 1, 2, 3, 6, 7, 14, 21,

42

答え: **6**

$$(3) \frac{5}{6} + \frac{3}{10} = \frac{25}{30} + \frac{9}{30} = \frac{34}{30} = \frac{17}{15} = 1\frac{2}{15}$$

$$(4) 1\frac{3}{8} - \frac{5}{6} = 1\frac{9}{24} - \frac{20}{24} = \frac{33}{24} - \frac{20}{24} = \frac{13}{24}$$

2

(1) 式: $12 \div 4.8 = 2.5$ 答え: **2.5kg**(2) 式: $4.8 \div 12 = 0.4$ 答え: **0.4m**

3

式: 全体のページ数を $\square$ とすると、 $\square \times 0.6 = 120$ $\square = 120 \div 0.6 = 200$ 答え: **200** ページ

5 年生 2 学期のまとめ～重要ポイント解説～

2 学期に学習した以下の単元について、つまずきやすいポイントと指導のヒントをまとめました。

1. 整数（偶数と奇数、倍数と約数）

- » 偶数と奇数: 2 でわりきれ整数が「偶数」、わりきれない整数が「奇数」。0 は偶数です。
- » 倍数と公倍数: 「最小公倍数」は分数の通分で必須となります。
- » 約数と公約数: 「最大公約数」は分数の約分で必須となります。

指導のポイント

倍数・約数の見つけ方で漏れないように、「小さい数から順に考える」「ペアで見つける（約数）」習慣をつけさせましょう。

2. 分数のたし算・ひき算

- » 通分: 分母がちがう分数のたし算・ひき算では、通分して分母をそろえます。
- » 約分: 答えが約分できるときは、これ以上約分できない形（既約分数）にします。
- » 帯分数: 繰り上がり・繰り下がりのある計算でのミスに注意が必要です。

3. 平均

- » 公式: 平均 = 合計 ÷ 個数
- » 合計を求める: 合計 = 平均 × 個数
- » 0 が含まれる場合でも、個数（日数や人数など）に含めて計算することを忘れないようにします。

4. 単位量あたりの大きさ

- » こみぐあい: $1m^2$ あたりの人数、または 1 人あたりの面積で比べます。
- » 人口密度: $1km^2$ あたりの人口。(人口 ÷ 面積)
- » どちらで割るか: 「～あたり」の「～」に来る量でわります。これが最大のつまずきポイントです。

つまずき対策：単位量あたりの大きさ

「 $1m^2$ あたりの人数」の場合、単位は「人/ m^2 」となります。分数の形で見ると、分子が「人」、分母が「 m^2 」となるので、「人数 ÷ 面積」と立式しやすくなります。

5. 割合（2）

- » 帯グラフ・円グラフ: 全体を 100% としたときの各部分の割合を表します。
- » 目盛りの読み取り: 1 目盛りが何 % を表しているか (1%, 2%, 5%, 10)